

平成21年度一般会計当初予算説明資料

9款 警察費

2項 警察活動費

3目 交通指導取締費

会計課（内線：8502）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)新型インフルエンザ対策資機材整備事業	13,867	0	13,867	6,933			6,934	
トータルコスト	15,524千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0. 20人							
主な業務内容	対策の企画、関係機関との調整							

事業内容の説明

1 事業概要

新型インフルエンザの県内発生期及び大規模流行期において、警察が担う発生地域付近における治安維持及び検視業務の実施に際し、活動を行う警察官等への感染防止のために必要となる資機材を備蓄し有事に備える。

2 事業計画等

区分	備蓄品名	数量	備考
検視業務用	・防護具ガウン ・キャップ ・排気弁付マスク ・フェイスシールド ・プラスチック手袋	各8,360個	・検視員＝検視医1名＋警察官3名 ・検視最大見込み数2,090名×4個 ＝8,360個
一般警察活動用	・サージカルマスク	50,700枚	・各警察署の警察官定員及び警察本部執行隊の警部以下845名が対象 ・845名×60日＝50,700枚

※新型インフルエンザ発生から終焉までの60日間分を備蓄

3 鳥取県新型インフルエンザ対応マニュアル(平成20年8月21日鳥取県作成)における警察の役割

区分	警察の役割
県内発生期	地域内の治安維持のほか、県又は市町村からの支援要請があれば、必要に応じ、県等の職員が道路上で住民に説明・説得する際の混乱防止や交通整理、予防投与する薬や救援物資の配布に当たっての警備など所要の措置を行う。
大規模流行期	警察本部は、防護服、マスク等の各種装備資機材の活用による職員への感染の拡大防止に配慮を行いながら、各種新型インフルエンザ対策に警察力を最大限に投入し、各種治安の維持、確保に向けた的確な対応を図る。 【予想される警察活動】 ・避難地域及び隔離施設周辺における警戒活動 ・知事が実施する感染場所等への立ち入り制限、交通の遮断等への支援 ・警察医との連携による迅速な検視業務の実施